

平成30年度 選挙管理委員会事務局運営方針

選挙管理委員会の使命と役割

選挙は、日本国憲法によって保障された国民の参政権を具体的に行使する重要な制度であり、機会です。

間接民主制をとる我が国においては、国政や市政の代表者を選ぶ選挙が公正かつ適正に行われることによって、はじめて民主的な政治が期待できるものであり、ここに選挙管理委員会が設置された重要な意義があります。

選挙管理委員会は、選挙が公正かつ適正に行われるよう取り組むことはもとより、常にあらゆる機会を通じて有権者の政治意識や投票参加意識の向上に努めるとともに、選挙時には棄権防止や投票参加を積極的に呼び掛けることを責務としています。

以上のことを踏まえ、選挙管理委員会に関する事務を処理する事務局は、選挙に係る情報等の的確な把握と対応を行うとともに、職員の専門性の向上に向けた研鑽や業務の改善等に努め、信頼される選挙事務となるよう取り組みます。

大事な投票、忘れずに!



平成30年度 選挙管理委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針				
公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行を行うとともに、有権者の政治意識の向上のため、あらゆる機会を通じて政治や選挙への関心を高める啓発等の取組を行う。				
平成30年度重点取組				
取組名		目標	計画・条例等	所属等
選挙事務の 管理執行	1	京都府知事選挙・府議会議員伏見区選挙区補欠選挙の管理執行	・適正・円滑な執行(4月8日実施済)	公職選挙法
	2	統一地方選挙（京都市・府議会議員一般選挙）の管理執行	・適正・円滑な執行にむけた準備(平成31年4月執行予定)	
若い世代への啓発事業の充実・強化	3	明るい選挙出前授業の実施	・市内小学校，中学校，高等学校等での実施拡充 ・授業内容の充実	選挙課
	4	学生団体等との啓発事業の連携強化	・大学生等との明るい選挙出前授業の共同実施 ・学生団体が自主的に行う選挙の啓発活動への支援	
	5	ポスター・論文コンクールの実施	・7月に募集開始，10月（ポスター）及び12月（論文）に優秀者を表彰	
職員の事務能力向上	6	新有権者を対象にしたリーフレットの発行	・選挙についてわかりやすく解説したリーフレット作成	選挙課
	7	各種選挙に向けた従事職員に対する研修の実施，選挙事務を適正・円滑に進めるための様々な事例の共有化の継続的な取組	・研修テキストの改正 ・新任書記研修，専門研修の実施 ・ヒヤリハット集の充実 ・選挙事務マニュアルの充実 ・不適切な事務処理事例等の検証	
保執行体制の確	8	公正かつ適正な選挙執行のための体制の確保	・継続的かつ安定した選挙執行体制の強化 ・本庁等フォローアップ対象職員の拡大 ・選挙事務適正執行会議の設置	選挙課
職場環境	9	風通しのよい職場環境づくり	・「報告・連絡・相談」の徹底 ・事業進ちょくや課題，情報の共有	

【平成 30 年度の重点取組の概要】

○ 公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行

任期満了を迎える以下の選挙について、公正・適正かつ効率的な選挙事務の管理執行を行う。

1 平成 30 年度に執行する選挙

京都府知事選挙及び府議会議員伏見区選挙区補欠選挙（執行済）

任期満了日 平成 30 年 4 月 15 日（日）（知事）

投・開票日 平成 30 年 4 月 8 日（日）

2 平成 30 年度から準備に取り組む選挙

京都市・府議会議員一般選挙

任期満了日 平成 31 年 4 月 29 日（月）

○ 若い世代への啓発事業の充実・強化

3 明るい選挙出前授業実施校の増加

将来の有権者である若者の政治・選挙に対する関心を高めるため、市内小学校、中学校、高等学校等を対象に実施している、明るい選挙出前授業について、区選挙管理委員会との連携の下、実施校数の増加を図る、また、教育委員会と連携し、授業内容の充実を図る。

4 学生団体等との啓発事業の連携強化

大学生等との明るい選挙出前授業の共同実施や、学生団体が自主的に行う選挙の啓発活動に対し支援金を交付するなど、連携を強化する。

5 ポスター・論文コンクール応募者の増加

将来の有権者である若者の政治・選挙に対する関心を高めるため、小・中・高校生を対象に実施している明るい選挙をすすめるポスター募集と、中学生以上 18 歳未満の若者（高校在学中の方は応募可）を対象に実施している論文コンクールの応募者を増加させる。

6 京都市・府議会議員一般選挙リーフレットの発行など

新有権者となる高校 3 年生や若年勤労者（主に 18、19 歳対象）に対し、選挙についてわかりやすく解説したリーフレットを作成し、配布する。

○ 市・区選挙管理委員会事務局職員の事務能力向上のための取組

7 各種選挙に向けた従事職員に対する研修の実施、選挙事務を適正・円滑に進めるための様々な事例の共有化の継続的な取組

新任書記研修や専門研修の実施により、選挙管理委員会事務局職員の事務能力の向上を図るとともに、選挙執行に係る具体的事例を集約したヒヤリハット集や選挙事務マニュアルの充実及び研修テキストの改正によって、選挙事務を適正・円滑に進めるための事例の共有化を図る。

○ 公正かつ適正な選挙執行のための体制の確保

8 公正かつ適正な選挙執行のための体制の確保

選挙を公正かつ適正に執行するため、継続的かつ安定的な選挙執行体制の強化に取り組む。

○ 風通しのよい職場環境づくり

9 風通しのよい職場環境づくり

「報告・連絡・相談」を徹底するとともに、週1回開催する補職者会議において、事業進ちょくや課題、情報を共有化するなど、風通しのよい職場環境づくりを進める。

【平成30年度予算】

項目	金額
選挙管理委員会運営費 (うち常時啓発費)	6,800千円 (3,700千円)
知事等選挙費	211,000千円
総額	217,800千円